

# 平成31年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申 請 者	団体名	和泉商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 山本 恭弘		
	所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3丁目1番10号		
	担 当 者	職・氏名	中小企業相談所 所長代理 増谷 好幸	
		連 絡 先	電話番号（直通）： 0725-53-0320	
F a x : 0725-53-5959				
		E - m a i l : <a href="mailto:masutani@izumicci.jp">masutani@izumicci.jp</a>		
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥につ いては直近の数字を記 載のこと		①平成6年4月1日  ②17名（7名）  ③和泉市  ④5,887（平成28年 RESASデータ参照） ⑤4,023（平成28年 RESASデータ参照） ⑥1,971（33.48%）（令和2年3月31日 現在）		
□主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 ③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 ④輸出品の原産地証明 ⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 ⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん ⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 ⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 ⑨行政庁から委託を受けた事務 ⑩社会一般の福祉の増進に資する事業 ⑪国際親善の増進を図る事業 ⑫上記のほか、商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理し、その他商工会議所の目的を達成するために必要な事業				

## 和泉商工会議所

## (1) 事業の目標

小規模事業者の抱える経営課題解決に向けて、「経営課題の抽出・把握・分析、提案、支援実施」この基本に沿った経営指導を行い、一過性の相談対応ではなく、中長期的な経営改善計画に基づく質の高い支援を実施。また小規模事業者への幅広い支援を展開していくことを目標とするため、巡回指導をより強化し個社支援の強化を図る。また、面的支援においては、新商品開発や独自サービスの構築、販促マーケティング強化及び労働力不足を解消するための人材確保支援等を実施し個社支援との相乗効果を図ることにより、小規模事業者の競争力強化を図り地域産業の活性化を推進していく。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

## 〔経営相談支援事業〕

管内小規模事業者における経営改善及び経営力向上に向けて、直面する相談事案に対して一過性の支援とすることなく、経営の根幹にある経営課題の抽出に注力し適切な提案、支援を実施。また支援実施後についても経過観察を行い事業遂行状況を調査確認し必要に応じて追加支援も実施。中期的な経営展望を見据え将来に向けての経営基盤拡充に繋がる支援とした。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績の低下に対して各種支援施策の情報提供並びに個社支援を一層強化した。

## 〔専門相談支援事業〕

当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により、小規模事業者が抱える専門的課題解決に向けて経営指導員同席により三者面談を迅速に実施し対応。支援後の経過観察にも注力した。

## 〔地域活性化事業〕

経営相談支援実施時に小規模事業者の内部環境及び外部環境から支援ニーズを収集し事業を構築、実施。2月に開催予定の第2回「求人・求職マッチング事業」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を中止し、参加予定事業所に対しては個社支援を実施した。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

## 〔経営相談支援事業〕

小規模事業者の経営改善及び経営力向上に寄与するために、相談事案の早期解決に向けて経営課題の抽出、分析及び経営の根底にある改善点と中期的経営計画を明確化したことにより、将来に向けた経営の持続的発展に繋げる支援とすることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大により経営活動への影響が危惧される事業者に対しては、早期に適切な支援実施により、事業の存続と打開策を見出す事ができた。

## 〔専門相談支援事業〕

専門的且つ緊急を要する経営課題に対して、経営指導員による調査分析後、事案に適合した提携専門家との三者面談を早期に実施した事により、迅速な課題解決に繋げる事ができた。

## 〔地域活性化事業〕

管内の経済情勢及び小規模事業者の支援ニーズを集約し事業を構築。事業実施前後の個社支援を強化した事により事業実施効果を高める事ができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回「求人・求職マッチング事業」は中止となったが、参加予定事業所に対しては個社支援を実施し一定の事業成果をあげる事が出来た。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

## 〔経営相談支援事業〕

小規模事業者の経営改善及び持続的発展に向けての支援に関しては、緊急性の高い相談事案が多く、直面する課題解決に向けて、現況調査、分析及び今後の事業計画を踏まえた支援を実施。相談受付から支援実施に至るまでのスピード感を重視し早期の課題解決に繋げる事ができたが、小規模事業者の更なる経営力向上に繋げるためには、将来に向けた経営計画の明確化に注力し、理解を図っていく事が重要である。

## 〔専門相談支援事業〕

専門的経営課題の早期解決に向けて提携専門家との連携をより一層強化し、支援実施後のフォローアップにも注力していく必要がある。

## 〔地域活性化事業〕

事業の構築、実施に関して、管内小規模事業者の経営実態や支援ニーズを収集し、経営相談支援事業との相乗効果を更に高めていく事が必要。

## (5) 来年度への取り組み

小規模事業者の経営課題の解決に向けて、「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルを基本に、質の高い経営指導を目標として取り組み、本計画の進捗状況や成果等を毎年度検証し、次年度以降に反映させて実行していく。また地域活性化事業と経営相談支援事業との相乗効果も積極的に考え、セミナーや事業実施後のフォローアップを重点におき、変化を注視していく。

さらに、BCP（事業継続計画）、経営発達支援計画など国や府、市と密に連携を取り、簡易策定シートの活用など時代に合った事業を実施していく。

## 和泉商工会議所

## Ⅰ 経営相談支援事業

## 支援のポイント・成果

小規模事業者の現況、経営課題、事業遂行手法に関しては、業種、業態、事業規模等により千差万別であり、経営相談が発生した経緯から各事業所が抱える経営課題を抽出、分析し中長期的展望と広い視野を持って経営支援策を提案。各種支援実施の際には支援実施後に想定される効果を明確化し、フォローアップにも注力した。2月後半以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により管内小規模事業者における資金繰りの悪化等が顕著に見られ、資金調達支援を中心に経営相談支援事業を更に強化し事業所の経営維持に寄与した。

## 【主な支援実施内容】

## ○金融支援

小規模事業者において、経営の最重要課題である資金繰り面の支援に関しては、直面する融資相談の解決のみならず、中期的な経営計画を明確化し将来に向けての事業展望の中において必要となる必要資金額の算出と資金繰り管理面の強化を図る事により経営の安定化を実現し、収益基盤の拡充に繋げる支援とすることが出来た。

## ○事業計画作成支援

5ヶ年計画を作成することを目標に指導を実施し、定量面及び定性面において経営計画の明確化を図った。計画実現に向けては、現状の経営課題の抽出と改善、また計画目標の達成に向けて必要となる実施事項を抽出。経営者に対して事業展望を明確にする事の重要性について認識を高め、実現に向けての手法について理解度向上が図られた。

## 【支援の代表事例】32-31-7

建設事業者に対して、今後の受注増加予定分に対応するための資金調達支援を実施。想定される資金繰りサイクルを分析し適正な借入金額を算出し先行支払金額に対応でき且つ資金繰りの安定化に繋げる支援を実施できた。また内部環境と外部環境を考慮し中長期的経営計画を策定支援。将来に向けての経営力向上に向けた支援を実施し代表取締役における経営基盤拡充についての理解度も高める事が出来た。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	450	450	100.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	10	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	70	86	122.9%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	105	109	103.8%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	18	14	77.8%	4
記帳支援	事業所	80	91	113.8%	5
労務支援	支援数	95	109	114.7%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	0
マーケティング力向上支援	事業所	6	6	100.0%	5
販路開拓支援	支援数	15	10	66.7%	4
事業計画作成支援	支援数	30	26	86.7%	4
創業支援	事業所	15	14	93.3%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	2	0	0.0%	0
コスト削減計画作成支援	事業所	5	4	80.0%	4
財務分析支援	事業所	35	24	68.6%	4
5S支援	事業所	0	0	0.0%	0
IT化支援	事業所	1	0	0.0%	0
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	0
事業承継支援	事業所	2	0	0.0%	0
災害時対応支援	事業所	0	0	0.0%	0
結果報告	事業所	447	442	98.9%	5

## Ⅱ 専門相談支援事業

## 支援のポイント・成果

当所提携の弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士と連携を図り、専門的な経営課題に対して経営指導員同席による三者面談を随時実施し、迅速対応により課題解決に向けての提案、支援を行った。

法人設立登記、各種営業許認可取得申請や補助金申請等の経営基盤拡充に資する相談から、内部管理、労使間や取引先とのトラブル解決に至るまでの多様な相談案件に対して、迅速かつ適切に対応し課題解決に導くことが出来た。

## 【具体的な支援内容】

法人設立等登記15件、許認可申請9件、就業規則・定款2件、補助金申請11件、事業承継2件、会計管理11件、税務19件、労働問題・労務15件、民事・相続関係3件、取引・契約関係20件、知的財産権1件、マーケティング1件、経営改善1件

支援日数:94日、支援企業数:79件、延べ支援件数:94件

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
専門相談支援事業（税務）	継続	支援日数	35	19	54.3%	4
専門相談支援事業（税務以外）	継続	支援日数	70	75	107.1%	5

和泉商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

【求人・求職マッチング事業】

市内小規模事業者の雇用促進を図ることを目的に「大阪府総合労働事務所」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により、障がい者・若者・中高年齢者の知識や経験、適性を生かした人材確保に向けて本事業を実施。今年度より第1回は、障がい者求人に特化したことにより、企業側が求める人材と求職者が求める労働条件がうまくマッチングすることができ採用に結びつくことが出来た。第2回は求職者が参加しやすい土曜日開催とし、来場者数の増加を図ったが新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となった。参加企業に対しては雇用関連助成金等の情報提供や採用後の管理、人材確保のための個社支援を行い、求職者に対しては適正診断や就労支援相談等を実施。求職者数は目標対比未達となったが、就職内定企業数については一定の支援成果を得る事ができた。

【(地独)大阪産業技術研究所利用促進事業】

(地独)大阪産業技術研究所と連携し、阪南7商工会議所の広域連携事業として本事業を実施。泉州地域の企業の垣根を越えた交流会を開催し、同研究所の高性能な機器や装置の仕様・性能などに触れてもらう事で、小規模事業者が抱える技術的課題解決に繋げる事を目的とした。参加企業は、同研究所の活用方法と連携を理解され、今後の利用促進に繋がる支援ができた。また、企業商談スペースを設置し、新規取引先開拓、共同開発等の新規ビジネスチャンスの創出により企業の経営力向上に繋げる支援ができた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	求人・求職マッチング事業	40	32	80.0%	77	就職内定企業数	15	4	26.7%	3

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	(地独)大阪産業技術研究所利用促進事業(ビジネス交流)	200	202	101.0%	86	研究発表・ビジネス初に役立つ情報収集による知識向上	180	182	101.1%	5
						商談件数	120	130	108.3%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。



和泉商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	若者、中高年齢者、障がい者、全ての働く意欲のある人々が能力を發揮し安心して働き、安定した生活を送ることが出来る社会を目指します。前者の方々の思いは、「正規雇用として生活の安定を図る」「健康で意欲と能力がある限り年齢に関係なく働き続けたい」「障害のない人と同様に、その能力と適性に応じた雇用の場に就き自立した生活を送る」と思っている方々が多く、合同就職面接会を実施する事で、人材を求める中小企業と働く意欲のある求職者を結びつける事が出来れば、安定した生活の確保及び地元企業にとっても優秀な人材を確保することができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業者 40社 障がい者・若者・中高年齢者 等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和元年9月11日(水)「第1回和泉市就職情報フェア」(92名参加) 会場：和泉シティプラザ(3階レセプションホール) 求人企業数：15社 募集人数：69名 内定人数：4名 令和2年2月22日(土)「第2回和泉市就職情報フェア」 (新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止) 会場：和泉シティプラザ(3階レセプションホール) 求人企業数：17社 募集人数：94名 内定人数：1名 採用後の取り組みとしては、人材育成の為にも商工会議所の各種検定・セミナーや新入社員セミナー等を活用。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所と連携を図り、職業適性診断及び専門の相談員によるサポートを実施。未然にミスマッチを防ぐ効果があった。						
		②広域連携							
		③市町村連携	市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の来場に繋げる事ができた。						
④相談相乗	本事業参加企業に対して、労務管理の適正化に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度向上が図られた。								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	32	支援実績率	80.0%	満足度	77	
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	本事業は、管内小規模事業者が直面する喫緊の経営課題である人材不足を解消すべく、「大阪府総合労働事務所」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により実施。求人募集企業に対しては、事前に本事業の開催趣旨の理解を図り、募集する職種の選定や面接手法等について指導を行った。本年度より障がい者求人に特化したところ、10社より23名の求人募集があり、3名の方が採用となった。令和元年度の実績として、支援企業数は40社の目標に対して15社の実績、求職者数は売り手市場等の外部環境の影響並びに新型コロナウイルス感染拡大防止により第2回のフェアが中止となった事から、350名の計画に対して92名の実績となった。本事業の成果として、就職内定企業数は15社に対して3社(第1回実績のみ)の結果であった。支援企業に対する本事業実施後の変化については、採用が実現した事業者は採用後の人材育成面や雇用関係助成金等の周知及び活用促進などにより職場環境の充実化に関して提案指導を実施。また、採用に至らなかった事業者には、本事業を含む人材確保に向けた求人募集方法や周知方法等の再考提案を行った。第2回の開催中止に伴い、参加予定企業に対しては、人材確保における計画調査を行い、和泉市・ハローワークと連携を図り、今後の事業運営において必要な人材確保に向けた支援を実施すると共に、新型コロナウイルス感染症関連助成金について案内を行った。							
		指標	就職内定企業数						
		数値目標	15	実績数値	4	目標達成度	26.7%		
成果の代表事例	成果の代表事例	障がい者求人募集2名に対して2名の面接を行い、当日面接を実施した2名の方が採用された。障がい者の求人については、以前より求職者からも要望があり、今回企業側が求める人材と求職者の求める職種がうまくマッチングすることができた。業にとっても今後の経営活動に向けて適した人材を採用することにより、企業としての将来性を高める成果を得る事が出来た。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)	350	目標値(実績)	92	目標達成度	26.3%		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	第1回和泉市就職情報フェア(求職者数) 92名 第2回和泉市就職情報フェア(求職者数) 新型コロナウイルス感染拡大の為中止							
		新型コロナウイルス感染拡大により、多くの事業所が事業経営に大きく影響を受け、経営が悪化したことにより従業員の雇用にも大きく影響が出ている。その為、今後の就職情報フェアにおいても、求人状況も大きく変化が見込まれる。早期の収束が望まれるところであるが、引き続き、9月開催のフェアについては、障がい者求人を中心とし、2月については求職者が来場しやすい土曜日開催とし、関係機関へのチラシ設置やSNSの利用等の広報を積極的に行い本事業の周知拡大を図る。現在、中小企業・小規模事業者の状況は非常に厳しい状況ではあるが、地域の雇用拡大のため関係機関と連携し、優秀な人材確保の為、参加企業においても自社PRの重要性を意識してもらい、企業PRや周知の方法について支援を行う。採用後についても、職場定着に向けて労働関係の情報提供等で支援を図る。							

和泉商工会議所

事業名		(地独)大阪産業技術研究所利用促進事業							
想定する実施期間		24年度～ 年度まで ※複数段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(地独)大阪産業技術研究所は、旧・大阪府立産業技術総合研究所と旧・大阪市立工業研究所の新設合併により平成29年4月に新組織としてスタートしており、両研究所の強みを生かした研究開発から製造までの支援を行っている。本ビジネス交流会において、大阪産業技術研究所の事業内容・実施するサービスを広くPRし、多くの地域ものづくり企業に大阪産業技術研究所を活用して頂き、企業が抱える技術的課題解決を目的としている。交流会では、大阪産業技術研究所の施設見学会、機械設備の取扱い説明会を実施し、大阪産業技術研究所を利用した新製品開発などの品質分析により、高品質な製品づくりに結びつける。参加企業からの要望を受け、出展・来場者との商談・交流の機会を促進するため、阪南7商工会議所の連携によりさらなるビジネスチャンスの拡大を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	堺市、泉大津市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、高石市、和泉市内中小・小規模事業者 トリヴェール和泉西部地区企業・取引企業 テクノステージ和泉企業、取引企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：令和元年11月22日(金)9時30分～17時15分 開催場所：(地独)大阪産業技術研究所 【第1部】【ORIST技術講習会】9時30分～12時15分 試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴をご理解いただき企業の皆様に、より一層ご利用いただくための技術講習会を開催。 ・鉄鋼の成分分析 ～事例と測定データの活用～ 8名(中小企業7社・大企業1社) ・品質管理のための異物分析 ～分析機器の基礎と実演～ 7名(中小企業5社・大企業2社) ・高速シリコンディープエッチング装置 2名(中小企業1社・大企業1社) ・分光エリブソメーター(屈折率・膜厚測定装置) 1名(中小企業0社・大企業1社) ・大面積元素分析装置付電界放出型走査型電子顕微鏡(FE-SEM)2名(中小企業0社・大企業1社) ・消臭・脱臭・芳香性能試験 1名(中小企業1社・大企業0社) ・ものづくり工房3Dプリンタ装置 2名(中小企業1社・大企業0社) 【第2部】【特別講演会】13時00分～14時50分 参加企業数：202社 講師：評論家 宮崎 哲弥 氏 テーマ「どうなる!?これからの日本の政治経済」 【第3部】【展示会・交流会】15時00分～17時15分 参加PR企業数：46社 大阪技術研・大阪府立大学・和歌山大学をはじめ、企業・団体の交流会を開催。出会いを提供し、販路拡大や異業種間での連携、共同開発などビジネスチャンスの創出をバックアップ。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪産業技術研究所の試験研究機器等の活用を促進するため技術講習会を開催						
	②広域連携	本事業の周知拡大と企業間交流の強化に繋げることができた							
	③市町村連携								
	④相談相乗	製品展示レイアウトに対するアドバイス及び販路開拓等に伴う融資支援							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	200	支援企業数(実績)	202	支援実績率	101.0%	満足度	86
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	企業が一同に集まり、異業種の垣根を越え情報交換・名刺交換を実施し、新たなビジネスチャンスに繋げる交流会である。参加企業が求める技術や取引先とのマッチングを実施。PRブースにおいては、自社製品の展示・パネル展示を行い、各企業のオンリーワンの技術・製品づくりを発信して頂き、新たなビジネスチャンスへと繋げていただくことができた。 今年度も、阪南7商工会議所の連携のもと、広域にて交流会が出来た事もあって、出展企業間での交流も活発に行われていた。また、市内外から多くの来場者が参加され、商談件数の目標達成に繋がっている。							
		指標	研究発表・ビジネスに役立つ情報収集による知識向上						
		数値目標	180	実績数値	182	目標達成度	101.1%		
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	45	支援企業数(実績)	46	支援実績率	102.2%	満足度	84
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ビジネス交流会も9年目を迎え、地域に定着し、PRブースでは46社(その他団体を含め61社)参加いただくことができた。企業PRブースの参加がきっかけで、和泉市内外問わず、参加事業所がテクノステージ企業・トリヴェール和泉西部地区企業との取引ができるようになった等、交流会の参加により、多くの企業と名刺交換ができたことで、営業活動がスムーズに行うことができ、互いにWin Winとなる取引が始まるなど好評を得ている。							
		指標	商談件数						
		数値目標	120	実績数値	130	目標達成度	108.3%		
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	91
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴をより具体的にご理解頂くためのORIST技術講習会にも多くの企業が参加。商工会議所として企業の技術課題解決の架橋として、今後もORISTとの連携を行い中小企業の支援活動を実施していく。技術講習会の支援企業15社に対し15社が参加いただく事が出来た。							
	指標	導入機器・施設見学実演を含む講習会によるORISTの活用向上							
	数値目標	12	実績数値	14	目標達成度	116.7%			
成果の代表事例	①今回、初めて参加された人材派遣業の事業所は、多くの企業の方と名刺交換し顔つなぎが出来ました。また、その中の1社と成約まで至り大変喜んで頂きました。 ②はり灸・整骨院を営まれている事業所は、アクシスメソットの無料体験を実施。体験される全ての方の反応・反響がすごく良く、整骨院の知名度を上げる事が出来たと感謝していた。(頭部に軽い刺激を与え、身体能力を引き出すメソット)								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	開催後の企業フォローアップを強化し、ORISTの利用促進となるよう今後も積極的に繋げていきたい。開催後の令和元年11月25日～12月27日現在迄の利用状況は、第1部技術講習会参加の15社中、4社が事業終了後ORISTを利用している結果が出ている。今後もフォローアップも含め交流会に参加された企業や泉州地域ものづくり企業が、もっとORISTを身近に感じて頂き、企業の課題解決の一つのツールとして今後活用してもらえるよう継続的に支援していきたい。							